令和８年（2026年）６月16日（火曜日）

第　１　号

令和８年第２回北海道議会定例会会議録

第　１　号

令和８年（2026年）６月16日（火曜日）

議事日程　第１号

６月16日午前10時開議

日程第１、会議録署名議員の指定

日程第２、会期決定の件

日程第３、議案第１号ないし第15号及び報告第１号

日程第４、請願第33号

○本日の会議に付した案件

１．日程第１から日程第４

１．請願の産炭地域振興・ＧＸ推進・エネルギー調査特別委員会付託

１．休会の決定

出　席　議　員（97人）

議　　長	100番	伊　藤　条　一　君
副 議 長	82番	梶　谷　大　志　君
	１番	山　崎　真由美　君
	２番	岡　田　　遼　君
	３番	小　林　千代美　君
	４番	清　水　敬　弘　君
	５番	板　谷　よしひさ　君
	６番	伊　東　尚　悟　君
	７番	今　津　寛　史　君
	８番	木　下　雅　之　君
	９番	黒　田　栄　継　君
	10番	小　林　雄　志　君
	11番	髙　田　真　次　君
	12番	武　市　尚　子　君
	13番	千　葉　真　裕　君
	15番	鶴　羽　芳代子　君
	16番	戸　田　安　彦　君
	17番	早　坂　貴　敏　君
	18番	藤　井　辰　吉　君
	19番	前　田　一　男　君
	20番	水　間　健　太　君
	21番	鈴　木　仁　志　君
	22番	田　中　勝　一　君
	23番	石　川　さわ子　君
	24番	海　野　真　樹　君
	25番	丸　山　はるみ　君
	26番	中　村　　守　君
	27番	寺　島　信　寿　君
	28番	水　口　典　一　君
	29番	川　澄　宗之介　君
	30番	木　葉　　淳　君
	31番	小　泉　真　志　君
	32番	鈴　木　一　磨　君
	33番	武　田　浩　光　君
	34番	渕　上　綾　子　君
	35番	宮　崎　アカネ　君
	36番	山　根　まさひろ　君
	37番	和　田　敬　太　君
	38番	植　村　真　美　君
	39番	佐々木　大　介　君
	40番	滝　口　直　人　君
	41番	林　　祐　作　君
	42番	檜　垣　尚　子　君
	43番	宮　下　准　一　君
	44番	村　田　光　成　君

45番　渡邊靖司君
46番　浅野貴博君
47番　安住太伸君
48番　内田尊之君
49番　大越農子君
50番　太田憲之君
51番　桐木茂雄君
52番　久保秋雄太君
53番　佐藤禎洋君
54番　清水拓也君
55番　千葉英也君
56番　道見泰憲君
57番　船橋賢二君
58番　丸岩浩二君
59番　中野秀敏君
60番　池端英昭君
61番　菅原和忠君
62番　中川浩利君
63番　畠山みのり君
64番　沖田清志君
65番　笹田　浩君
66番　白川祥二君
67番　新沼　透君
68番　阿知良寛美君
69番　田中英樹君
70番　中野渡志穂君
72番　真下紀子君
73番　荒当聖吾君
74番　森　成之君
75番　赤根広介君
76番　佐藤伸弥君
77番　池本柳次君
78番　滝口信喜君
79番　松山丈史君
80番　市橋修治君
81番　稲村久男君
84番　広田まゆみ君
85番　高橋　亨君
86番　平出陽子君
87番　花崎　勝君
88番　三好　雅君
89番　村木　中君
90番　吉田祐樹君
91番　田中芳憲君
92番　冨原　亮君
93番　松浦宗信君
94番　中司哲雄君
95番　藤沢澄雄君
96番　村田憲俊君
97番　吉田正人君
98番　喜多龍一君
99番　髙橋文明君

欠　員（３人）

14番
71番
83番

出席説明員

知事	鈴木直道君
副知事	濱坂真一君
同	三橋　剛君
同	加納孝之君
公営企業管理者	谷内浩史君
病院事業管理者	井上聡巳君
総務部長兼北方領土対策本部長	坂本隆哉君
総務部職員監	飯田　滋君
総務部危機管理監	髙山圭一君

総務部イノベーション推進監	笠井敦史君
総合政策部長兼地域振興監	中村昌彦君
総合政策部グローバル戦略推進監	大矢邦博君
総合政策部交通企画監	斎藤由彦君
環境生活部長	天野紀幸君
環境生活部アイヌ政策監	髙見里佳君
保健福祉部長	竹澤孝夫君
保健福祉部子ども応援社会推進監	鈴木義和君
経済部長	水口伸生君
経済部観光振興監	後藤知佳子君
経済部食産業振興監	上原和信君
経済部ゼロカーボン推進監	中富大輔君
経済部次世代社会戦略監	青山大介君
農政部長	鈴木賢一君
農政部食の安全・みどりの農業推進監	野口正浩君
水産林務部長	野村博明君
水産林務部森と海の未来づくり推進監	近藤将基君
建設部長	関　俊一君
建設部建築企画監	飯沼善範君
会計管理者兼出納局長	清水目　剛君
企業局長	所　健一郎君
道立病院部長	東　幸彦君
財政局長	藤原啓裕君
財政課長	髙畠研人君
教育委員会教育長	中島俊明君
教育部長兼教育職員監	猪口浩司君
学校教育監	伊賀治康君
総務課長	手塚和貴君
選挙管理委員会事務局長	藤原和道君
人事委員会事務局長	田中　仁君
警察本部長	友井昌宏君
総務部長	久馬昌司君
総務部参事官兼総務課長	下里敬輔君
労働委員会事務局長	佐藤秀行君
代表監査委員	深瀬　聡君
監査委員事務局長	岡本收司君
収用委員会事務局長	奥　厚一君

議会事務局職員出席者

事務局長	山田哲史君
議事課長	髙橋　究君
議事課長補佐	阿部厚次君
議事係長	古賀勝明君
議事課主任	成田将幸君
同	伊藤　僚君

午前10時４分開会

１．開　　会

○議長伊藤条一君　これより、本日をもって招集されました令和８年第２回定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

１．日程第１、会議録署名議員の指定

○議長伊藤条一君　日程第１、会議録署名議員の指定を行います。

会議録署名議員には、会議規則第124条の規定により、

真　下　紀　子　君
荒　当　聖　吾　君
森　　成　之　君
赤　根　広　介　君
佐　藤　伸　弥　君
池　本　柳　次　君
滝　口　信　喜　君
松　山　丈　史　君
市　橋　修　治　君
稲　村　久　男　君
広　田　まゆみ　君
高　橋　　亨　君

以上、12人の諸君を指定いたします。

１．諸般の報告

○議長伊藤条一君　諸般の報告をさせます。

〔髙橋議事課長朗読〕

１．知事から、議案第１号ないし第15号及び報告第１号ないし第11号の提出がありました。

議案第　１　号　令和８年度北海道一般会計補正予算（第１号）
議案第　２　号　令和８年度北海道営住宅事業特別会計補正予算（第１号）
議案第　３　号　北海道職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案
議案第　４　号　北海道税条例の一部を改正する条例案
議案第　５　号　北海道保健福祉部の事務処理の特例に関する条例の一部を改正する条例案
議案第　６　号　北海道認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準を定める条例等の一部を改正する条例案
議案第　７　号　北海道児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案

議案第　８　号　北海道学校職員等の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案
議案第　９　号　北海道地方警察職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案
議案第 10 号　新幹線鉄道の建設に関する工事に伴う地方公共団体の負担金に関する件
議案第 11 号　国営土地改良事業に伴う地方公共団体の負担金に関する件
議案第 12 号　公の施設の指定管理者の指定に関する件
議案第 13 号　工事請負契約の締結に関する件
議案第 14 号　工事委託契約の締結に関する件
議案第 15 号　財産の取得に関する件
報告第　１　号　専決処分報告につき承認を求める件
報告第　２　号　令和７年度北海道繰越明許費繰越計算書報告の件
報告第　３　号　令和７年度北海道事故繰越し繰越計算書報告の件
報告第　４　号　令和７年度北海道公共下水道事業会計予算繰越計算書報告の件
報告第　５　号　令和７年度北海道流域下水道事業会計予算繰越計算書報告の件
報告第　６　号　法人の経営状況に関する件
報告第　７　号　専決処分報告の件
報告第　８　号　専決処分報告の件
報告第　９　号　専決処分報告の件
報告第 10 号　専決処分報告の件
報告第 11 号　専決処分報告の件

（上の議案及び報告は、報告第６号を除き、巻末**議案の部**に掲載する）

１．各関係執行機関の長から、説明員の委任について通知がありました。

（上の説明員の委任通知は巻末**その他**に掲載する）

１．知事から、北海道職員の公務員倫理の確立及び保持に関する状況並びに講じた施策に係る報告、政策評価の結果に関する報告、交通事故の状況及び交通安全施策の概況に関する年次報告、飲酒運転の状況及び飲酒運転の根絶に関して講じた施策の概況に関する年次報告、北海道消費生活条例施行状況報告、カスタマーハラスメント防止に向けた取組に関する年次報告、農業・農村の動向等に関する年次報告、食の安全・安心に関して講じた施策等に関する報告、水産業・漁村の動向等に関する年次報告、北海道森林づくりの動向等に関する年次報告がありました。

１．監査委員から、監査並びに例月出納検査の結果について報告がありました。

１．議長は、議案第３号、第８号及び第９号について人事委員会委員長に意見を求めました。

１．本日の会議録署名議員は、

真　下　紀　子　議員
荒　当　聖　吾　議員
森　　成　之　議員

であります。

１．議長の報告

○議長伊藤条一君　この際、御報告いたします。

議員派遣の決定及び派遣決定の変更について、会議規則第126条第３項の規定により、配付してありますとおり、議長において決定いたしました。

次に、元議員風早俊男さんは、去る４月19日、同じく、小池昌さんは、６月10日、逝去されました。

誠に痛惜哀悼の念に堪えません。

よって、議長において謹んで弔意を表しました。

次に、元知事堀達也さんは、去る５月16日、逝去されました。

誠に痛惜哀悼の念に堪えません。

よって、議長において謹んで弔意を表しました。

以上、御報告いたします。

（上の議員派遣の件は巻末**その他**に掲載する）

○議長伊藤条一君　この際、去る２月26日、逝去されました角田一議員に弔意を表するため、鶴羽芳代子君より発言を求められておりますので、これを許します。

鶴羽芳代子君。

１．角田一議員逝去に対する追悼演説

○15番鶴羽芳代子君（登壇）北海道議会を代表し、去る２月26日に御逝去されました北海道議会議員角田一さんの在りし日の面影をしのび、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

角田さんが最後に道議会にお見えになられたのは、御逝去される17日前の２月９日。委員会の開催日で、衆議院議員選挙の開票が行われた翌日でありました。

お体は既に限界であったことでしょう。それでも、翌日の委員会には歯を食いしばって登庁されたのだと思います。「あした入院するんだ」、それが、私たちが角田さんと言葉を交わした最後となりました。

私たち会派の１期生は、互いの地元課題を共有するため、これまで、８市５町において視察を行ってまいりました。

意見交換の場では、角田さんは、常に自らの考えを持ち、真っすぐに発言され、その姿勢で、私たちに大きな刺激と多くの示唆を与えてくださいました。かけがえのない同志であり、尊敬できる存在でした。

あまりにも突然のお別れで、もうお会いできないのかと思うと、いまだ信じられない気持ちでいっぱいですが、角田さんが私たちに示してくれた地元・江別と北海道を思う情熱、その志を引き継ぎ、道民のために働き続けることこそが、残された私たちの使命であると考えております。

角田さんは、昭和43年11月18日、胆振管内洞爺湖町でお生まれになり、その後、生涯愛してやむことのなかった江別市に移り住まわれました。

幼少期より御両親の経営する飲食店を手伝う中、様々なお客さんの生活や思いを聞いてお育ちになったことが、政治の役割を考えるきっかけとなったとお話をされておりました。

法政大学で政治学を勉強、研究するとともに、政治の現場、選挙の現場を経験されながら、自らも人のために汗を流し、共に幸せな世の中をつくるお手伝いをしたいと、政治に対する思いをさらに強くされ、卒業後10年間、民間企業で社会人として経験を積まれた後、平成15年からは、本州で、衆議院議員の秘書を務められました。

その後、思いを新たに地元・江別に戻り、政治活動を始められ、平成19年４月の江別市議会議員選挙に出馬し初陣を飾り、４期16年間にわたり、市議会議員として御活躍されました。

市議会では、議会運営委員長、決算特別委員長など数々の要職を歴任され、令和元年５月から令和３年６月までは、第29代の市議会議長としての重責を担われました。在任中は、新型コロナウイルスの感染拡大により、国内外が大きく混乱をし、多くの困難が伴う時期ではございましたが、そのような厳しい状況にあっても、冷静な判断の下、円滑な議会運営に力を尽くされました。

令和５年４月、北海道議会議員に初当選。

角田さんは、地元・江別市民のため、北海道民のため、スポーツ振興をはじめ、経済の活性化、農畜産業の振興、地域医療など、様々な諸課題に向き合ってこられました。

特に、スポーツ振興では、北海道ホッケー協会会長として、競技人口の拡大や大会誘致、施設整備など、後押ししてきました。

道内唯一の日本ホッケー協会公認ホッケー場を整備し、道内公立高校で唯一のホッケー部の設置などにも尽力し、江別を北海道におけるホッケーの聖地へと育て上げられたのです。

こうした長年の積み重ねがあって、昨年、江別市は、日本ホッケー協会から、公式ホッケータウンに認定されました。角田さんが北海道ホッケー界の発展に大きく貢献されたことのあかしではないでしょうか。

道議会においては、この本会議場で、地域経済のグローバル化を見据えた外国人共生施策をはじめ、農家戸数減少下における農業基盤整備事業の進め方、人口減少対策や子育て支援施策の充実強化、子ども食堂の支援など、幅広い分野に熱心に質問をされていた姿が目に浮かびます。

また、地元の野幌森林公園の新たなモニュメントに関し、道民に愛される魅力ある空間として

いくよう、ふるさとの思いをしっかりと議会の中で議論されておりました。

委員会では、経済委員、総合政策委員を歴任されるとともに、前期、後期を通して、産炭地域振興・ＧＸ推進・エネルギー調査特別委員会委員として御活躍されました。

昨年４月からは、角田さんは政策審議委員に手を挙げられました。

会派の代表質問を担う政審は、議会のたびに各部署と議論を行い、多くの時間を費やします。負担もかかります。

闘病中であることを存じておりましたので、正直なところ、驚きと心配の気持ちが強くありました。

しかし、誰も角田さんを止められませんでした。道政の課題に一つ一つ真っ正面から向き合い、言葉を丁寧に紡ぎながら、最後は声を振り絞って臨む、真摯なそのお姿は、今も私たちの胸に深く刻み込まれています。

本日は、議場に、御家族、後援会、町内会、市議団の皆様にお越しいただいています。

角田さんは、よく家族のお話をしてくださいましたが、「うちはしっかり者のかみさんでね」と、奥様の話をするときは、はにかんでいて、いつも幸せそうでした。

その奥様、素子さんから教えていただいたエピソードを御紹介します。

角田は、昔から、死ぬときは冗談を言いながら笑っていたいと言っていました。病気が発覚してからも私の前で大きく崩れることはなかったのですが、一度だけ、テレビで来年の話題が出たときに、「俺、そこまで生きられるのかなあ」と言いながら、ほんの少し涙を浮かべたことがありました。

私の前でぐらいたくさん泣いてもよいのに、こんなふうに一人でどこかで泣いているのかと思うと、胸が締めつけられる思いでした。

最後の日は、朝から昏睡状態だったのに、突然起き上がって、何も言わずに、ふざけているかのような笑顔で私の頭をなでて、そしてまた昏睡状態になって、そのまま亡くなりました。

驚きましたが、最後まで笑顔でいたいということを貫き通したのだなと思いました。本当に最後まで強くて優しい人でした。

本来ならば、皆さんに病気のことを明かすべきだったとは思いますが、周りに気遣わせてしまうというのもあったと思いますし、亡くなる直前まで議会のスケジュールを気にしていましたので、強い使命感があったのだと思います。

自分に負けたくない思いで、家族の前で泣くこともできなかった彼を、今はゆっくりと眠らせてあげたいです。

志半ばでの御逝去は、どれほど無念であったでしょう。奥様を残して、御両親より先に、57歳という若さで旅立たなければならなかったお気持ちを思うと、胸が張り裂けそうな思いです。

角田さん、あなたは最後の最後まで政治家でした。

角田さんを失いましたことは、御遺族、地元・江別市のみならず、道議会、北海道にとっても大きな損失であります。

私たちは、角田さんの御遺志をしっかりと受け継ぎ、角田さんが生涯をかけて目標とされた「北海道に明るい夢を！確かな未来を！」の実現に向け、北海道の発展に全力を注ぐ決意であることをここにお誓い申し上げます。

空席になってしまった議場のあなたの席、そこからどうぞ私たちのことを見守っていてくださいね。

角田さん、どうか安らかにお眠りください。これまでの全てに心からの感謝をささげ、北海道議会を代表して、追悼の言葉といたします。

令和８年６月16日

北海道議会議員　鶴　羽　芳代子

１．角田一議員逝去に対する黙禱

○議長伊藤条一君　この際、角田一議員の逝去を悼み、弔意を表するため、黙禱をささげたいと思います。

御起立願います。

黙禱。

〔全員起立・黙禱〕

○議長伊藤条一君　黙禱を終わります。

御着席願います。

議事進行の都合により、暫時休憩いたします。

午前10時22分休憩

午前11時１分開議

○議長伊藤条一君　休憩前に引き続き、会議を開きます。

１．日程第２、会期決定の件

○議長伊藤条一君　日程第２、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から７月３日までの18日間といたしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長伊藤条一君　御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

１．日程第３、議案第１号ないし第15号及び報告第１号

○議長伊藤条一君　日程第３、議案第１号ないし第15号及び報告第１号を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

知事鈴木直道君。

１．議案第１号ないし第15号及び報告第１号に関する説明

○知事鈴木直道君（登壇）提案説明に先立ち、一言申し上げます。

去る５月16日、堀達也元北海道知事がお亡くなりになりました。

改めて、心より哀悼の意を表しますとともに、御遺族の皆様に衷心よりお悔やみ申し上げます。

ただいま議題となりました令和８年度補正予算並びにその他の案件について、その大要を御説明申し上げます。

まず、議案第１号及び第２号の補正予算は、当面措置を要する経費について、所要の予算措置を講じようとするものであり、その総額は、

一　般　会　計　　20億8800万円

となっております。

以下、歳出予算について申し上げます。

初めに、医療人材の確保、定着のため、業務効率化や職場環境改善に取り組む医療機関に対して支援することとし、19億8500万円を計上するとともに、中学校における平日の部活動の地域展開に向けた市町村の取組に対して支援することとし、所要の予算措置を講じることといたしました。

また、指定管理者により管理を行う道立の公の施設について、所要の債務負担行為を設定することといたしました。

これらに見合う歳入予算といたしましては、

国　庫　支　出　金　　14億2700万円

繰　　入　　金　　６億6100万円

を計上いたしました。

次に、その他の案件の主なものについて申し上げます。

まず、議案第３号は、北海道職員の特殊勤務手当について、危険鳥獣捕獲等作業手当を新設するとともに、災害応急作業等手当の額の改定などを行おうとするものであり、

議案第４号は、地方税法の改正に伴い、個人の道民税及び不動産取得税について、所要の改正を行おうとするものであり、

議案第６号及び第７号は、国が定める児童福祉施設等に係る基準の改正に鑑み、保育所及び認定こども園における職員の配置基準に関する特例等を定めようとするものであります。

次に、議案第８号は、北海道学校職員等の特殊勤務手当について、災害時教育支援業務等手当の額の改定を行おうとするものであり、

議案第９号は、北海道地方警察職員の特殊勤務手当について、危険鳥獣捕獲等作業手当を新設するとともに、救難作業手当の額の改定を行おうとするものであります。

次に、議案第12号は、道営住宅の指定管理者について、地方自治法の規定により議決を得ようとするものであります。

次に、議案第13号及び第14号は、北海道総合行政情報ネットワークの設備更新に係る工事請負

契約及び道のインターネット環境等の構築に係る工事委託契約を締結することについて、議案第15号は、消防防災ヘリコプターを取得することについて、いずれも議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により議決を得ようとするものであります。

次に、報告第１号は、北海道税条例の一部改正について、急施を要するため専決処分したので、その承認を求めようとするものであります。

以上、今回提案いたしました案件の主なものについて、その大要を御説明申し上げました。

よろしく御審議のほどをお願い申し上げます。

１．日程第４、請願第33号

１．請願の産炭地域振興・ＧＸ推進・エネルギー調査特別委員会付託

○議長伊藤条一君　日程第４、請願第33号を議題といたします。

請願第 33 号　鈴木北海道知事の北海道電力泊原発３号機の再稼働同意の撤回を求める北海道議会の決議に関する件

（上の請願は巻末**請願・陳情の部**に掲載する）

○議長伊藤条一君　お諮りいたします。

本件を産炭地域振興・ＧＸ推進・エネルギー調査特別委員会に付託することにいたしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長伊藤条一君　御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

１．休会の決定

○議長伊藤条一君　お諮りいたします。

議案等調査のため、６月17日から６月18日まで本会議を休会することにいたしたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長伊藤条一君　御異議なしと認めます。

よって、そのように決定いたしました。

以上をもって本日の日程は終了いたしました。

６月19日の議事日程は当日御通知いたします。

本日は、これをもって散会いたします。

午前11時７分散会